函館桜友の会　会員の皆様

さくら通信　第11号

令和6年度

函館近郊のサクラほか近況報告　北斗市周辺ウソの被害

今年も例年より早めの開花となった函館近郊の桜も葉桜となりました。皆様いかがお過しですか。気候の変動による開花時期の前倒し傾向はこれからも続くでしょう。今年は好天に恵まれ、花の状態も良く、長く桜花を楽しむ事ができました。 ただ**北斗市方面の桜の名所である法亀寺のシダレ桜や戸切地陣屋跡、街路の桜並木にウソの被害が発生し花数を大きく減らしたのが残念です**。ここ4～5年はウソの被害がなかったのですが、ウソの再来に今後は警戒し対策が必要となるでしょう。夏場の高温、乾燥による影響は、病害虫の異常発生や生育不良の原因にもなり、花が散ってからの夏から秋冬にかけての維持管理が重要となります。

桜の木が、緑の葉でいっぱいになったころ道南近郊のマツ類の枝葉が褐色となり枯が目立ち始めました。大きな被害になりつつあります。気象の影響によるものと思われます。

【トピックス】

五稜郭公園の何本かのソメイヨシノに枝替わりの花(ソメイヨシノと違う花2～3輪)が咲き話題になっています。ソメイヨシノや八重桜が咲き終わってから咲くようです(北海道新聞掲載)。ちなみに五稜郭公園内で一番早くに咲くのは六花亭の大ガラス窓の前です開花標準木の3～4日前に咲きます。

英国在住のジャーナリスト阿部菜穂子さんが浅利会長を主人公のとした著書を英国で出版しました。このほど、この本を浅利会長に贈るため会長のご自宅を訪問されました。ロシアによるウクライナ侵攻で避難民が押し寄せた隣国ポーランドの国境の街の修道院に35年前平和の願いを込めて浅利会長が寄贈した北海道産のサクラの一部が毎年花を咲かせているそうです。著書は会長が取り組むサクラを通じた世界平和への思いが伝わる内容になっているようです。日本語版は2025年以降発行予定(北海道新聞掲載)。

八重桜で有名な石崎地主海神社を尋ねました。見事な八重桜の中に会員のやながわ苑芸さんが寄贈した桜が良く育っていました。

浅利会長と赤川小学校の生徒が、東日本大震災の復興を願って笹流れダムの桜広場に植えたエドヒガンが今年も花を咲かせました。まだまだ花数は少ないですが華憐な花を咲かせています。サクラ広場の真ん中あたりに高さ約3m位に育っています。(写真) これからも見守りたいと思います。

オススメ桜スポット

函館公園、五稜郭公園、見晴公園、旧函館商業高校跡（五稜郭タワー向）、函館中央図書館、笹流れ貯水池桜広場、中野ダム公園、亀田川河川敷サクラ並木、松倉川河川敷サクラ並木、北斗市松前辺切地陣屋前広場、松前公園　等々。

「このほか皆様がお気に入りの桜スポットがあればお知らせください」単木でも並木でもなんでもOKです。

これからも、浅利会長の慈しみの精神の元、桜の魅力発信に努めたいと思っています。皆様におかれましては、季節の変わり目でもあります、お体には充分ご自愛ください。

連絡先:函館桜友の会　事務局　山上
【樹芸やまのえ】ホームページでも配信しております。
※【樹芸やまのえ】と入力して【検索】を押してください。

函館桜友の会
事務局　山上勝治
TEL:32-5315　FAX32-5410

封書での情報配信は今年までとし、
今後は、メールおよびホームページ掲載での配信といたします。

令和6年5月26日

函館笹流れダム復興祈願桜 エドヒガン

令和6年4月26日

笹流れ水源地桜広場